

① ㈱三協商会とはどんな業務をされているのでしょうか？
 土木、建築分野から鉄鋼、電子機器などあらゆる分野の資材、機械設備や車両などの販売から、土木、建設工事施工まで。お客様に最適なかつ安心、安全で優れた商品を提案させていただいています。

② 政策提言委員会の今年度の活動のアピールポイント
 今年度のテーマは「宇宙開発産業を鳥取へ 産官学民一帯のスキームを提言する」です。
 壮大なテーマすぎてイメージしにくいかと思いますが、宇宙開発産業に興味を持っていただくと、(株)アマニコフボさんが夜の砂丘を月面に見立てて、月面探査実験のイベントを行ったり、宇宙に関するイベントを開催されています。

砂丘(国立公園)の利用方法なども提言出来ればと思います。

また、鳥取県は星取県のイメージがありますが、今後は鳥取県(soratoriken)のイメージも浸透していければと考えています。

③ 委員長として大切にしたいこと
 私は、入会歴が浅く、色々と経験不足なところがありますが、まずは委員会活動に一人でも多くの方に参加していただくため、参加しやすい雰囲気を作る事が大切だと思います。あまりかしこまりず、委

ピックアップ会員インタビュー
政策提言委員会
株式会社三協商会
常務取締役 民野泰稔 委員長

員会メンバーがリラックスして臨める委員会を目指しています。
 コロナ禍でなかなか対面での委員会を開催することが出来ていない状況ですが、こまめな声かけや、連絡を取り合っただけでメンバーの結束力を高めていけるようにしたいです。

④ 委員のみなさまへの一言
 9月例会は当委員会が担当させていただきました。ご参加していただきありがとうございました。また、ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

政策提言委員会は、自治体に対して我々の思いや声を直接、提言書として訴えかける事が出来る委員会です。それもこのYEG活動における醍醐味だと考えています。

あと残り半年と短い時間ですが、YEGの魅力も内部にも外部にも伝えられる提言書を作り上げるよう尽力して参ります。

インタビュー担当
 広報T委員会 松村



インタビューの様子

新入会員



西尾 利樹 君
 (にしおとしき)
 事業所名 マニユライフ生命保険鳥取支社
 所属委員会 広報IT委員会



藤原 昌彦 君
 (ふじわらまさひこ)
 事業所名 藤原電気工事
 所属委員会 会員交流委員会



山根 雅人 君
 (やまねまさひと)
 事業所名 (株)ソリッドデザイン
 所属委員会 ビジネス向上委員会

鳥取YEGホームページリニューアルしました！！
 鳥取YEGの活動を発信しています！！
 ぜひご覧ください！



鳥取 **YEG** 通信

TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP
 発行: 令和3年9月15日
 鳥取商工会議所青年部 広報IT委員会
 鳥取商工会議所青年部通信 September 2021

令和3年度
会長あいさつ

鳥取商工会議所青年部
 会長 荒田潤之介
 株式会社 千代田工務店

暑さが緩むと共に秋の足音が聞こえる季節となりました。コロナウイルスのクラスターにより、鳥取県東部も感染者数が大幅に増え、不安な日々をお過ごしのことと申し上げます。

また、毎年の豪雨災害により地球温暖化の影響を肌身で感じるようになり、温暖化対策を本気になって取り組まないと10年、20年後の気候変動を含めた地球環境はとて心配になります。

現在、青年部は、コロナウイルス感染拡大により、鳥取県が特別警報を発令している事もあり、リモートでの活動を強いられ、困難な状況だからこそ、青年の英知と勇気と情熱をもって、活動を少しでも前に進めていこうと思っております。

そして、商工会議所ではワクチン接種が行われ、会議所職員の皆様には土日も出勤して献身的に対応していただき、感謝の気持ちで一杯でございます。本当にありがとうございます。

第5波である感染拡大は、長期的になつたコロナによる自粛疲れや、オリンピックなどによる気の緩みの影響によるものだと思います。鳥取県内のクラスターも、本日に多くの方に影響を及ぼしており、改めて怖さを感じました。

自分たちの家族や、社員、大切な人を守るために今一度、感染対策を見直していただき、これ以上の感染拡大をみんなで防いでいきましょう。

17日間にわたるオリンピックが閉会しました。

今回のオリンピックは、コロナ禍で直したオリンピックとして、運営費など多くの問題も残っておりますが、コロナ禍でも参加してくださったアスリートの皆様や、運営してくださったボランティアの皆様のお陰で素晴らしいオリンピックになったのではないのでしょうか。

世界が絶賛している日本人ボランティアの皆様の対応から、日本人の素晴らしさであるおもてなしの心や、勤勉さ、献身的で誠実な部分をもっと大切にしていく必要があると感じました。また、それが私たちが日本人の誇りでもあると改めて感じることができました。

そして、スポーツの力は本当に素晴らしく、コロナ禍において皆さんの勇気や情熱をいただきましたし、リスベクトし合うアスリートの姿勢にお互いを理解しあうにはまずは、お互いをリスベクトし合うことの大切さも学びました。

困難な状況で開催されたオリンピックだからこそ、日本の様々な問題と共に多くの学びがあった大会でもありました。今回のオリンピックを通して、日本人のどこが強みであり、素晴らしいか、コロナによりニューノーマル時代を迎え、日本の国としてこれからの社会で生き抜くために何が足りてないか、今一度、考える機会になつたように思います。

まずは、私たちは地域の商工業の発展のためにこの愛する地域で青年らしく邁進してまいりますので、改めて、お力添えよろしくお願いいたします。

8月例会開催について

令和3年8月11日(水) 8月例会を開催しました。

この鳥取でもコロナによるクラスターが発生し、開催自体が危ぶまれる例会となりましたが、荒田会長の強い思いもあり、徹底した感染対策を施しての開催となりました。

会場入りするメンバーは最低限に抑え、他のメンバーはYouTube配信にて行い、さらに会場はいつも使用させていただいている商工会議所大会議室の使用が出来ず、とりぎん文化会館での開催と様々な条件がいつもと違う形での例会となりました。

「活動を止めない」荒田会長の強い言葉で始まった例会ですが、今回は各委員長、出向者の報告を事前に録画した映像を配信するという新しい形で行い、スムーズな運営となりました。さらに、今月も4名の新入会員の入会をいただきました。

7月4日に星取ビールが販売を開始し、改めてメンバーへ向けた星取ビール販売のキックオフ例会となりました。この星取ビール販売を通して、オンライン広告の効果を知っていただき、コロナ禍においても自社の社業に活かしていただきたいとYouTube班、SNS班さらに対比としてオンライン班(ラジオ、ポスターなど)の各チームの取り組みを発表していただき、各会員の新たなビジネスのきっかけとなる例会となりました。

ビジネス向上委員会 委員長 池内哲也